

解剖学 (2)

教授 高屋 憲 一
助教授 吉田 淑 子
助手 岡部 素 典
助手(前) 村上 純
助手 菓子井 良 郎

◆ 原 著

- 1) K. Takaya, M. Okabe, He Li, J. Murakami and T. Yoshida: Ion microscopy (dynamic and time-of-flight) of the cell and tissue for the distribution of elements and organic substances. 電子顕微鏡34 : 163-165, 1999.
- 2) Yoshida T., Oomori Y., Okabe M., Takaya K. and Koizumi F.: Reactions of follicular dendritic cells (FDCs) and interdigitating cells (IDCs) in the rat lymph node after different antigens injections. Dendritic Cells 9 : 37-40, 1999.
- 3) Kenichi Takaya, He Li, Motonori Okabe, Toshiko Yoshida, Masahiko Toyoda and Eiji Sugiyama: Secondary Ion Mass Spectrometry (SIMS) as Applied to Biology and Medicine. Proceeding of the Japan-China Joint Seminar on Atomic Level Characterization, 133-138, 1998.
- 4) Atarashi Y., Yasumura A., Nambu S., Yoshio Y., Murakami J., Takahara T., Higuchi K., Watanabe A., Miyata K., Kato M.: A novel human tumor necrosis factor alfa mutein, F4614, inhibits in vitro and in vivo growth of murine and human hepatoma: implication for immunotherapy of human hepatocellular carcinoma. Hepatology, 28 : 57-67, 1998. (1998年度追加)
- 5) 岡部素典, 高屋憲一, 吉田淑子, 何 利: 単離膵島における元素組成-微細構造(保存状態)と測定方法について-。電子顕微鏡34 : 155-158, 1999.
- 5) 宮 華青, 雨宮次生, 高屋憲一: マグネシウム欠乏ラット網膜の微細構造の変化と元素局在。電子顕微鏡34 : 159-162, 1999.
- 6) Kashii Y., Giorda R., Herberman RB., Whiteside TL., Vujanovic NL.: Constitutive expression and role of the TNF family

ligands in apoptotic killing of tumor cells by human NK cells. J. Immunol., 163 : 5358-66, 1999.

- 7) Reichert TE., Kashii Y., Stanson J., Zeevi A., Whiteside TL.: The role of endogenous interleukin-2 in proliferation of human carcinoma cell lines. Br. J. Cancer, 81 : 822-31, 1999.
- 8) Chikamatsu K., Reichert TE., Kashii Y., Saito T., Kawashiri S., Yamamoto E., Whiteside TL.: Immunotherapy with effector cells and IL-2 of lymph node metastases of human squamous-cell carcinoma of the head and neck established in nude mice. Int. J. Cancer, 82 : 532-7, 1999.
- 9) Murakami J., Shimizu Y., Kashii Y., Kato T.: Functional B-cell response in intrahepatic lymphoid follicles in chronic hepatitis C. Hepatology, 30: 143-150, 1999.
- 10) Sasagawa T., Okita M., Murakami J., Kato T., Watanabe A.: Abnormal serum lysopholipids in multiple myeloma patients. Lipids. 34 : 17-21, 1999.
- 11) 村上 純, 加藤 勤, 清水幸裕, 渡辺明治: HCVと悪性リンパ腫。臨床消化器内科, 14 : 303-308, 1999.

◆ 総 説

- 1) 菓子井良郎, 渡辺明治: 肝硬変治療の進展後。からだの科学, 208 : 64-67, 1999.
- 2) 青山圭一, 村上 純, 渡辺明治: 15.サルコイドーシスと悪性リンパ腫。Modern Physician 19 : 913-919, 1999.

◆ 学会報告

- 1) 高屋憲一, 何 利, 岡部素典, 吉田淑子: イオン顕微鏡による元素と分子のイオン像観察の標本作製法と分析部位観察法の検討。第104回日本解剖学会総会・全国学術集会, 1999, 3, 東京。
- 2) 吉田淑子, 岡部素典, 高屋憲一: 免疫応答におけるリンパ節の抗原移送細胞と濾胞樹状細胞の免疫組織学的研究。第104回日本解剖学会総会全国学術集会, 1999, 3, 東京。
- 3) 岡部素典, 高屋憲一, 何 利, 吉田淑子: 単離ラ氏島における微量元素のイオン顕微鏡による観察。第104回日本解剖学会総会全国学術集会, 1999, 3, 東京。
- 4) 高屋憲一, 岡部素典, 村上 純, 杉山茂樹, 長木康典, 吉田淑子: イオン顕微鏡 (SIMS) の生

- 体試料分析への応用. 日本電子顕微鏡学会第55回学術講演会, 1999, 5, 名古屋.
- 5) 吉田淑子, 高屋憲一, 岡部素典: リンパ節内濾胞樹状細胞 (FDC)、抗原移送細胞 (ATC) およびTingible Body Macrophage (TBC) の関係. 日本電子顕微鏡学会第55回学術講演会, 1999, 5, 名古屋.
 - 6) 岡部素典, 何 利, 高屋憲一, 吉井亮一, 吉田淑子: 単離脾臓における微細構造 (保存状態) の検討. 日本電子顕微鏡学会第55回学術講演会, 1999, 5, 名古屋.
 - 7) 清水幸裕, 樋口清博, 岡田和彦, 菓子井良郎, 渡辺明治: B型肝炎ウイルストランスジェニックマウスの急性肝炎モデルにおける肝内浸潤単核球の表面マーカーおよび細胞障害能の検討. 第35回日本肝臓学会総会, 1999, 6, 東京.
 - 8) 清水幸裕, 樋口清博, 岡田和彦, 村田浩之, 國谷 等, 菓子井良郎, 渡辺明治: B型肝炎ウイルストランスジェニックマウスにおけるHBs抗原特異的CTLの免疫学的寛容と骨髄由来樹状細胞による活性化. 第35回日本肝臓学会総会, パラレルシンポジウム, 1999, 6, 東京.
 - 9) 平野克治, 南部修二, 村田浩之, 河相 覚, 國谷 等, 矢田 豊, 原田雷太郎, 菓子井良郎, 安村 敏, 峯村正実, 岡田和彦, 清水幸裕, 渡辺明治: 5年以上無再発生存の肝細胞癌の4例. 第35回日本肝癌研究会, 1999, 6, 京都.
 - 10) 金谷由紀子, 品川和子, 清水幸裕, 村上 純, 加藤 勤, 渡辺明治, 石澤 伸: 経過中に, リンパ節, 胃粘膜などに髄外造血を来した骨髄線維症の一例. 第17回日本血液学会北陸地方会, 1999, 7, 金沢.
 - 11) Toshiko Yoshida, Makoto Naito, Motonori Okabe and Kenichi Takaya: Antigen transporting cells (ATCs) in the lymph node after the elimination of macrophages induced by liposome-encapsulated dichloromethylene diphosphonate (MDPCI₂). 13th International conference on lymphoid tissues in immune reactions. 1999. 8. Geneva.
 - 12) 八木 満, 加藤 勤, 村上 純, 安村 敏, 渡辺明治, 石澤 伸: 慢性リンパ系白血病の一例. 第31回リンパ増殖性疾患検討会, 1999, 9, 金沢.
 - 13) 高屋憲一, 何 利, 岡部素典, 村上 純, 吉田淑子: 新鮮凍結乾燥超薄切片を用いたラット骨髄のイオン顕微鏡観察による骨髄細胞の元素組成. 日本解剖学会第59回中部地方会, 1999, 10, 福井.
 - 14) 何 利, 岡部素典, 高屋憲一, 吉田淑子: イオン顕微鏡観察のための新鮮凍結切片の短時間固定染色法の検討. 日本解剖学会第59回中部地方会, 1999, 10, 福井.
 - 15) 高屋憲一, 八十島邦昭, 岡部素典: ラット坐骨神経髄鞘のイオン顕微鏡による元素のイオン像観察. 第31回日本臨床電子顕微鏡学会, 1999, 11, 東京.
 - 11) 岡部素典, 高屋憲一, 八十島邦昭: 単離脾臓の元素分析-微細構造 (保存状態) の確認. 第31回日本臨床電子顕微鏡学会, 1999, 11, 東京.
 - 12) 吉田淑子, 内藤 眞, 岡部素典, 高屋憲一: Tingible body macrophage (TBM) とFollicular dendritic cell (FDC) との関係. 第10回日本樹状細胞研究会, 1999, 11, 名古屋.
 - 13) 大森義明, 吉田淑子, 岡部素典, 高屋憲一, 小泉富美朝, 笹原正清: 類回抗原投与におけるリンパ節の免疫組織学的検討. 第10回日本樹状細胞研究会, 1999, 11, 名古屋.
 - 14) 菓子井良郎, 愛場信康, 新敷吉成, 村田浩之, 加藤 勤, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 造血器腫瘍例における化学療法に伴うウイルス肝炎, 肝硬変の重症化とその対策. 第33回日本肝臓学会西部会, 1999, 12, 富山.
 - 15) 峯村正実, 平野克治, 南部修二, 村田浩之, 國谷 等, 河相 覚, 菓子井良郎, 安村 敏, 岡田和彦, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: PEITの合併症の検討. 第33回日本肝臓学会西部会, 1999, 12, 富山.
- ◆ その他
- 1) 高屋憲一, 岡部素典, 村上 純, 杉山茂樹, 長木康典, 吉田淑子: イオン顕微鏡 (二次イオン質量分析計, SIMS) の生体試料分析への応用. マイクロビームアナリシス第141委員会第97回研究会資料, 19-24, 1999.
 - 2) 高屋憲一, 岡部素典, 何 利, 村上 純, 吉田淑子: イオン顕微鏡 (dynamicと飛行時間型SIMS) の生体組織・細胞への応用. マイクロビームアナリシス第141委員会第98回研究会資料, 37-42, 1999.
 - 3) 村上 純, 渡辺明治: 肝硬変. 臨床スポーツ医学臨増刊16 (臨増刊): 101-102, 1999.
 - 4) 村上 純, 渡辺明治: 肝機能障害. 臨床スポーツ医学臨増刊16 (臨増刊): 98-99, 1999.